

第一編 地貌論

第一章 山系論

山系概論

調査區域ハ大和河内兩國ノ境ヲナシ南北ニ走レル葛城山系北端ノ一火山地方ニシテ地形又單調タルヲ免レズ區域ノ北境ハ大和川ノ溪谷ヲ隔テ、遙カニ生駒山ニ對シ而シテ南境ハ自ラ二上山ニヨリテ限ラル然リ而シテ東西兩側ニ至リテハ徐ロニ大和、河内、兩平野ニ連ルヲ見ルベシ。

區域一般ノ地勢タルヤ葛城山系トハ其ノ間自ラ趣ノ大ニ異ナル處アリト雖ドモ兩者ノ間其高底ニ於テ特別ノ差異ナキガ爲メカ時ニ人ヲシテ葛城山系ノ一部分ト誤ラシムルコト無キニシモアラズ山系ハ總ジテ火山ニ特有ナル圓錐形ヲ呈シ地形學上又幼年ヨリ壯年ノ時代ニ進行シツ、アルモノナレバ今ヤ老年ニ近キツ、アル葛城山脈トハ溪谷其他ノ有様ニ於テ異ナル處少ナシトセズ。

山系詳論

區域ニ對スル委細ノ地貌ヲ知ラント欲セバ先ヅ足ヲ二上山ノ山頂ニ運ブベシ。

(1) 中央區域 區域ノ中央ニ位シテ關谷ノ盆地アリ此ノ盆地ハ

東ハ關谷村ヨリ西ハ田尻村ニ至リ全形隋圓形ヲナシ第四期時代湖水堆積層ヲ以テ充タサレタル一ノ化石湖タリ而シテ其ノ一部ノ遺物ハ今モ尙ホ盆地ノ東北隅ニ在リ關谷湖ト稱セラレ此ノ盆地タルヤ實ニ一小化石湖タリト雖ドモ我區域ニ於テハ地形學上重要視セラルベキモノナリ何トナレバ我ガ全區域ハ此ノ盆地ニ依リ南部及北部ノ二ツニ分タルベシ之レ只低地アルガ爲メ便利上區分セシニ非ズ地形學上既ニ業ニ兩者全ク其ノ趣ヲ異ニスル處アレバナリ。

(2) 北部地方 此區ハ全體トシテ一ツノ臺地的丘陵地ナリ全部讚岐岩ヨリ成ル而シテ臺地ノ北側ハ急ナル傾斜ヲ以テ大和川ニ臨メドモ南側ハ徐ロニ關谷盆地ニ向ツテ傾ケリ臺地全體ノ走向ハ南西ヨリ東北ニ伸長ス。

(3) 南部地方 北部ハ斯カル臺地的地勢ヲ呈スルニ係ハラズ關谷盆地南部地方ハ純然タル火山群地方ナリ略ボ南東ヨリ北西ニ伸長セル線上ニ群出セル圓錐狀火山ニテ充タサルト云フモ過言ニアラザルベシニ二上山、大師山、春日山、等ハ其ノ重ナルモノナリ、以下順次彼等ノ形態ニ就キ其概略ヲ説カン。

二上山 一名二子山ト稱シテ此等火山郡中最大最高ノ圓錐狀火山ナリ 其外形亦美麗ニシテ箱根火山群ノ秀峰タル二子山ニ彷彿タリ 海拔五百七十五メートルヲ算ス、山頂ハ其名

ノ示スガ如ク南北ノ方向ヲ取り二個ノ圓錐ニ分タレ恰モ双子火山ノ觀アリ地方人之レヲ稱シテ雄嶽雌嶽ト名ヅク、而シテ雌嶽ハ雄嶽ノ夫レニ比シ數十「メートル」ノ低キモ孰レモ讚岐熔岩ヨリ成レリ山ノ裾ハ北側ニ十分發達シ南裾ハ葛城山脈ノ爲メニ妨ダラレ不十分ナル發達ヲナセリ、從テ放射谷ノ如キモ北側ニ於テ其ノ發達セルヲ見認ムルノミ、而シテ二上火山自身ノ既ニ低キガ爲メ放射谷ト稱セラル、モノモ規模甚ダ小ニシテ茲ニ記述スル價值ナシト雖ドモ其ノ内地形學上少シク妙味ヲ與フルモノナキニシモアラズ即チ西池ノ谷及ビ當麻ノ谷是ナリ兩者孰レモ水源ヲ雌雄兩嶽ノ間ニ發シ前者ハ北方ニ長キ徐カナル谷トナリテ流レ後者ハ短急ナル溪流ヲナシ南東ニ向ツテ流下ス、且ツ兩者ノ水ハ全ク雌雄兩嶽ヲ連結セル山脊ニ依リテ分タレリ、此ノ分水嶺ヲ爲セル山脊東西ノ西側ハ地形學上一種ノ形態ヲ備ヘ外觀恰モ火口瀨ニ彷彿タル處アリ然レドモ委細ニ之レヲ觀察センカ彼等ハ決シテ火口瀨ニアラズ普通ノ放射谷ニシテ其ノ谷頂ニ於ケル特別ノ形態ハ實ニ谷ヲ形成セル岩石ノ特別ナル性質(劈開ノ十分ナル發達ノ爲メ破落シ易クススキコト及ビ露天化作用ヲ受ケル時容易ナルコト)ニ歸因セシモノナルベシ即チ谷頂ヲナセル讚岐岩ノ特別ナル性質ニヨリ斯ク面白キ漏斗狀ノ谷頂ヲ造リシニアラザルカ更ニ方向ヲ轉シ物産的溪谷トシテハ籠谷及ビ西池ノ

二谷ヲ舉ゲザルベカラズ兩者共ニ柘榴石ノ重要産地タリ前者ハ河内ノ國ニアリ後者ハ以テ大和ノ國ニ年々二萬圓内外ノ富ヲ與フル處ノ財源谷タリ山頂ニ登ルモ噴火口ト見做スベキモノナク從テ又外輪山、爆裂口等ノ如キハ見認ムル能ハズ、然レドモ熔岩排置ノ有様及地形學上ヨリ觀察シテ噴火口ノ位置ヲ考察スルコト又甚ダシキ難事ニアラザルナリ、即チ最近ノ噴火口ハ雌雄兩嶽ノ位スル處ニシテ此ノ二個ノ圓錐ハ最後ニ噴出セシ讚岐熔岩ノ爲メ閉塞サレタル噴火管ノ頭ヲ代表セルモノニ外ナラザルナリ從テ遠ク春日又ハ竹内地方ヨリ望ムトキ雌雄兩嶽ノ間ニ横ハリ恰モ噴火口壁ノ如キ觀ヲ與フル山頂ノ凹部ハ決シテ火口壁又ハ外輪山等ノ一部分ニアラザルコト明ナラン寄生火山トシテハ讚岐岩ヨリ成ル二三ノ圓錐ヲ只僅ニ山麓北側ニ於テ見認ルヲ得ルノミナリ。

古市山 山ハ田尻村ノ南西古市村ノ東方ニ位シ海拔二九四「メートル」ヲ算シ近隣ノ諸峰ヲ壓シ我が區域中第二ノ高山ナリ全山殆ント含雲母古銅石富士岩ヨリナリ圓錐塊狀火山ノ一ナリ南部ハ古キ春日山ノ爲メニ山裾ノ發達ヲ妨ダラレタリト雖ドモ北側ニ於テハ其發達完全ニシテ徐カナル傾斜ヲ保チ遠ク田尻村近傍ニ至ル噴火口ノ如キモ今ハ見ル能ハズ又北方山裾末葉ハ田尻川ノ爲メニ深ク刻マレ河内平野ニ臨ム處ニハ甚ダ

嶮シキ絶壁ヲナセリ古市山ノ西方宇田村ヨリ飛鳥村ニ通ズル峠ノ兩側ニ當リ相稱ノ塊狀火山圓錐二個アリ金山悉ク雲母古銅石富士岩ヨリ成リ古市山ト共ニ相並ビ我が區域中最新火山ノ代表者タルコトハ注意セザルベカラズ春日山(第二章編(七)水成層ノ處參照)ハ「ドンジリボー」累層ト稱スル水成岩ノ上ニ建設セラレタル讚岐岩ノ臺地ナリ。

大師山 大師山ハ獨立セル一個ノ塊狀火山ナリ葛城山系ヲ作ル處ノ正片麻岩ヲ基底トシ讚岐岩熔流ヨリナル嶮シキ圓錐形ノ山岳ナリ。

第二章 水系論

次ギニ水系ノ有様ニ及バンカ抑々我區域ニ於ケル水系ハ甚ダ簡單ニシテ特別記載ニ價スベキモノ更ニ無シ サレド溪谷中ニ於テ尤モ多キヲ占ムルモノハ小規模ノ放射谷ナリ此等放射谷ニ次デハ地帶構造ノ上ヨリ又歴史上面白キニ二ノ河流アリ大和川ヲ初メトシ田尻川及關谷川次デハ竹内川及ビ春日川之レナリ凡テ此等ノ河流ハ極メテ小ナルモノニシテ普通ノ河トシテハ僅カニ大和川アルノミナリ、彼等ハ凡テ略ボ東西ノ方向ヲ取り西又ハ東ニ向ツテ流下ス竹内川及春日川ハ殆ンド片麻岩中ニ刻マレタル谷ニシテ我が區域内ニ於ケル最古ノ河

ナルベシ大和川ハ片麻岩ト讚岐岩ノ臺地トノ境ニ沿フテ流レ地帶構造上重要ナル關係ノ上ニ立テリ而シテ現今ノ河床ハ實ニ讚岐岩大噴火ノ後ニ形成セラレタルモノナラン田尻川及ビ關谷河ニ至リテハ我が區域中尤モ新ラシキ時代ノ形成河ニシテ現今ノ進路ハ實ニ關谷化石湖湖水ノ流出セシ殘跡ニアラザルカ。

最後ニ湖水ニ就テ云ヘバ區域中天然ノ湖水ト稱スベキモノハ關谷盆地ノ北東隅ニアル小ナル關谷池ヲ始メトシ文長ノ沼アルノミナリ、其他小沼、小湖ト見做スベキモノ諸所ニ散在スルト雖モ是等ハ凡テ人工ヲ加ヘタル溪谷ノ一局部ニシテ田圃畑地用水ノ爲メ作ラレタル用水溜ニ外ナラズ。

以上概論セシ處ハ我が區域地形ノ大略ナリ從テ地貌又單調ナリ